

第3学年 社会科 学習指導案

1. 小単元名『農家の仕事 ～全国トップブランドのミニトマト』

(教科書：『小学社会3・4上』p.86～95／学習指導要領：内容(2)ア,イ)

2. 小単元の目標

- ・ミニトマト農家を見学する計画を立て、見学を通して農家の仕事の様子を捉える。
- ・生産の工夫や努力、地域とのつながりなどについて捉え、農家と自分たちの生活のつながりについて考える。

3. 小単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
ミニトマトづくりに ついて意欲的に調べ、農 家の人の仕事と自分た ちの生活とのつながり を考えようとしている。	ミニトマト農家の仕 事の様子について、学習 問題や学習計画を考え、 表現している。 ミニトマト農家では 様々な工夫や努力によ り、おいしく安全な農産 物を生産していること について考え、適切に表 現している。	地域の農業の様子や、 ミニトマト農家の仕事 の様子、様々な工夫や努 力について、見学や地 図、グラフなどの資料か ら必要な情報を集め、読 み取っている。	ミニトマト農家の人 の努力や工夫、地域との つながり、地域の農業の あり方についての農家 の人の願いを理解して いる。

4. 指導にあたって

(1) 児童の実態

本学級には、農業を行っている家庭が半数近くいる。サクランボやブドウなどの果樹栽培が中心の農家もあれば、ミニトマトを中心に栽培している農家もある。しかし、総合的な学習の時間で「たんきまらんキング」を作成したところ、圧倒的に果物のイメージが強く、大人に対する調査でも同様の傾向があった。ミニトマトについては「生産していることは知っている」程度である。本小単元の学習を通して、仁木町のミニトマトは全国トップブランドの地位を築いていること、ここに至るまでに40年以上のたゆまぬ努力や工夫があったことを捉えさせ、子どもたちの地域を見る目に広がりをもたせるよう支援していきたい。

(2) 教材について

本小単元では、43年間欠品が一度もなく、味や見た目にこだわりをもって生産してきたミニトマトに焦点を当てて教材化した。ミニトマトの収穫量や耕地面積の変化、売上高などの資料からも、それが仁木町の農業の未来を大きく担っていることに気づくことができる。畑の見学を通してトマト

組合の長年にわたる取り組みを知るとともに、農家の仕事についてまとめる時間では、ミニトマトの行方をおさえて他地域とのかかわりにも気づかせたい。さらに、単元終末の場面では自分たちの生活と地域とのつながりについても捉えさせたい。見学先に選んだ農家の方は昔から仁木町で農業を営んでおり、現在は観光農園としてサクランボをはじめ、ブドウ、ナシ、リンゴ、プルーン、ミニトマトなどを栽培している。時代の変化や農業技術の進歩に合わせ、主体的に農業経営してきたことや、地域の子どもたちを大切に、一人一人の思いに寄り添ってくれることから、この方の営みに迫ることとした。

(3) 指導上の工夫・留意点

仁木町のミニトマトは、ここ10年で売り上げが2倍以上になっており、他の地域の2倍ほどの値段で取り引きされている。このような大変インパクトのある情報を導入で提示してその秘密を探っていく展開も考えられたが、単元の終末まで学習意欲を持続させたいとの思いから、あえてこの情報を導入時に提示しなかった。調べる→知る→考えるという大きな流れをくみながらも、子どもたちの小さな発見や疑問を連続させることで、最後まで興味・関心が持続する単元構成を意識した。

5. 小単元の指導計画（総時数 10 時間）

時	ねらい	○学習活動 ・内容	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
① （つかむ）	自分たちが住んでいる地域で多くの作物がつけられていることを捉えることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○仁木町で有名な作物を挙げる。 ・サクランボ、リンゴなど <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 仁木町ではどんな作物がつけられているのだろう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・仁木地区ではブドウ・リンゴ・サクランボ・ミニトマトがつけられている。 ・野菜ではミニトマトがいちばん多い。 ・果物ではブドウがいちばん多い。 <ul style="list-style-type: none"> ○農家のミニトマトと学級園のミニトマトを食べ比べてみる。 ・農家のミニトマトは甘い。 ・何か工夫があるのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎仁木町のカントリーサイン ◎仁木町でつけられている主な作物がわかる地図 ◎収穫量（果物・野菜）のグラフ ◇サクランボやリンゴなど、果樹のイメージが強いが、ミニトマトも多くとれていることを確認する。 ◇見た目や味の違いから、ミニトマトづくりに対する興味・関心を引き出したい。 ◆町の農作物の生産について興味・関心を持ち、見学計画を立てようとしている。（関・意・態／発言・ノート）

<p>② (調べる)</p>	<p>農家の仕事にはどのような工夫があるのかを予想しながら、質問を考えることができるようにする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ミニトマトはどのようにしてつくられているのだろう。</p> </div> <p>○農家の人に質問したいことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニトマトはどうやってつくっているのか。 ・どんな種類のミニトマトをつくっているのか。 ・ミニトマトはどうしてこんなに甘いのか。 ・ミニトマト以外にどんなものをつくっているのか。 	<p>◆農家の仕事にはどのような工夫があるのかを予想して質問を考えている。 (思・判・表／発言・ノート)</p> <p>◇農事ごよみづくりにつながりそうな観点を意図的に与える。また、工夫の発見につながりそうな視点を大切にさせる。</p>
<p>③ ④ (調べる)</p>	<p>ミニトマト畑の見学を通して、畑の様子や、ミニトマトづくりの様子について捉えることができるようにする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ミニトマトはどのようにしてつくられているのだろう。</p> </div> <p>○農家をたずねて畑を見学する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一気にミニトマトができないよう、定植時期をずらしている。 ・わき芽を取ったり誘引したり、常に手作業で管理している。 ・収穫は7～10月。ミニトマトが市場に多く出る時期を極力避けて出荷する。 ・8月後半からは特に大変。毎日5時までに農協に出荷しなければならず、時間との勝負。朝早くから夜遅くまで作業がある。 ・40年以上研究を続けて、おいしく栽培できるようになった。 ・土づくり（肥料）、水の管理（細かく穴の開いたホース）、温度管理（ハウスの素材）にこだわっている。 	<p>◆見学前に立てた見学の視点に沿って、観察をしたり、話を聞き取ったりしている。 (技／発言・ノート)</p>
<p>⑤ (まとめる)</p>	<p>農事ごよみづくりを通して、農家では1年を通して様々な仕事をしていることを捉えることができるようにする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ミニトマト農家の農事ごよみをつくらう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニトマトは長い期間、収穫できる。 ・夏は特に忙しい。 ・冬も仕事がある。 ・農家は1年を通して様々な仕事がある。 	<p>◎農事ごよみの枠</p> <p>◎農事ごよみに必要な畑の写真など</p> <p>◆農家では1年を通して様々な仕事をしていることがわかる。 (知・理／発言・ノート)</p>

<p>⑥ ⑦ (まとめる)</p>	<p>農家では土づくりや水管理, 温度管理など, 様々な工夫をしていることを捉えることができるようにする。</p>	<p>聞いたこと, 体験したことをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仁木のトマトはほとんどミニトマト。 ・ミニトマトはハウスで育てられている。 ・赤色も黄色もある。 ・わき芽取りや, ひもでつる作業なども大変。 ・収穫はすべて手作業。 ・土づくり, 水管理, 肥料などが大切。 ・夏の時期はとていそがしい。 	<p>◆農家では土づくりや水管理, 温度管理など, 様々な工夫をしていることがわかる。 (知・理/発言・ノート)</p>
<p>⑧ (考える) 【本時】</p>	<p>農家では信頼のあるおいしいミニトマトをつくるために, 最後までこだわりをもって生産していることを捉えることができるようにする。</p>	<p>売り物になるのは, どんなミニトマトだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傷がついていない, 色がよい など ○ミニトマトを実際に選果してみる。 ○どれも商品にならないことを知る。 ○どうしてこんなに厳しく分けているのかを考える。 ・何でも入れると安くなってしまう。 ・よくないものが入ると, イメージが悪くなる。 ○売り物になるのは, 味だけでなく, 見た目もよいミニトマトであることに気づく。 ・これだけ手間をかけた大切なミニトマトだからこそ, 高く売れるように厳しく選んで, 箱に入れている。 	<p>◎収穫から出荷までの流れがわかる図や写真 ◎ミニトマトの実物 (選別作業用)</p> <p>◇基準を満たさないミニトマトを混ぜて入れた場合や, 他地域からも同様にミニトマトが運ばれてくることを想像させる。</p> <p>◆農家が厳しく選果している理由を考え, 表現している。 (思・判・表/発言・ノート)</p>
<p>⑨ (考える)</p>	<p>ミニトマト以外の作物について調べ, 農家の仕事をさかんにするためにいろいろな努力や工夫をしていることに気づくことができるようにする。</p>	<p>これからの仁木の農家の仕事はどうなっていくのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニトマトはもっと増えていくと思う。 ・サクランボは減ってしまうかも。 ○農家の方の話を紹介する。 ・昔はリンゴの木が多かった。 ・今はリンゴの木を切って, ミニトマトに代える人が増えている。 ○農家の仕事は時代とともに変化していることを知る。 	<p>◎田畑の耕地面積の変化のグラフ</p> <p>◆これからの仁木の農業について考え, 表現している。 (思・判・表/発言・ノート)</p>

⑩ (考える)	農家の仕事について学習したことを、自分の生活にかかわらせながら考えることができるようにする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">自分や仁木町と農家とのかかわりについて考え、まとめよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の町のミニトマトが東京方面で高値で売られていることを初めて知った。 ・農家の仕事の大変さやすごさがわかった。畑がたくさんこの町の風景を守っていききたい。 	◆農家の仕事について学習したことを、キーワードなどを使いながら表現している。 (思・判・表／発言・ノート)
------------	--	--	--

6. 本時の指導（第8時）

(1) 本時のねらい

農家では信頼のあるおいしいミニトマトをつくるために、最後までこだわりをもって生産していることを捉えることができるようにする。

(2) 本時の展開

時配	○学習活動 T：発問 C：児童の反応	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
5	<p>○前時までを想起し、収穫から出荷までの流れを確認する。</p> <p>T：収穫したミニトマトは、このような流れで売られています。ここまでこだわって育てたミニトマト。でも、売り物にならないミニトマトがあるんだよ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">売り物になるのは、どんなミニトマトだろう。</div>	<p>◎収穫から出荷までの流れがわかる図や写真</p> <p>◇掲示物を活用して、簡単に振り返られるようにしておく。</p>
30	<p>○売り物になるミニトマトについて選果規準を考える。</p> <p>C：傷がついていないミニトマト。</p> <p>C：へタがついているミニトマト。</p> <p>C：大きさがちょうどいいミニトマト。</p> <p>C：甘いミニトマト。</p> <p>C：形がいいミニトマト。</p> <p>○ミニトマトを実際に選果してみる。</p> <p>T：じゃあここにあるミニトマトを、売り物になるもの、ならないものと、分けてみてごらん。</p> <p>C：これは大丈夫。売り物になりそう。</p> <p>C：少し傷がついているのがあったよ。</p> <p>C：小さすぎるのは、売り物にならないほうに分けたよ。</p> <p>T：正解は、どれも売り物になりません。Aさん（農家の方）はここにあるミニトマトを全部、売り物用の箱に入れなかったんだよ。</p>	<p>◎ミニトマトの実物</p> <p>◇各班におよそ 15 個ずつ渡して作業。「売り物になるミニトマト」と「売り物にならないミニトマト」に分けられるよう、各班にトレーを準備しておく。</p>

	<p>C：え～！！どうして？こんなにおいしいのに。</p> <p>C：手間をかけて育てたんだから、売ればいいのに。</p> <p>C：厳しすぎる！</p> <p>○厳しく選果している理由を考える。</p> <p>T：どうしてAさん（農家の方）はこんなに厳しく分けているのだろう。</p> <p>C：厳しく分けないと、売れなくなるんじゃないかな。</p> <p>C：かえって儲からなくなるのかも。</p> <p>C：よくない噂がたってしまうかも。</p> <p>C：組合（農協）のルールがあるんじゃないかな。</p> <p>C：何十年もミニトマトをつくっているプライドがあるからだよ。</p> <p>C：食べる人のことを考えているんじゃないかな。</p> <p>T：Aさんにどうしてこんなに厳しく分けるのか聞いたら、このように答えてくれました。</p> <p>○農家の方の話を提示する。</p> <p>Aさん：仁木のミニトマトを少しでも高く売するために、心を鬼にして、箱に入れるミニトマトを厳しく選んでいます。味だけでなく、見た目も一つ一つそろえるのは、仁木ならではのこだわりです。</p> <p>T：Aさんが言っている「見た目」というのは、みんなが分けるときに言っていた、色や傷、大きさ、割れのことだね。でも、Aさんが選ぶときの目は、みんながびっくりするくらい厳しいんだね。</p>	<p>◇自分たちの選んだミニトマトは、農家の基準では一つも売り物にならないという事実から、「なぜこんなに厳しく分けるのか」という問いを生み出す。</p> <p>◇「もしもこれを箱に入れてしまうとどうなるか」というように、基準を満たさないミニトマトを混ぜて入れた場合について想像させる。</p> <p>◎農家の方から聞き取った話</p>
10	<p>○本時のまとめをする。</p> <p>T：売り物になるのはどんなミニトマトかまとめましょう。</p> <p>C：売り物になるのは、味だけでなく、見た目もいいミニトマト。</p> <p>T：厳しい選果をした結果、仁木のミニトマトはその他の地域のミニトマトに比べて、2倍ほどの値段で売れているのです。また、この10年で売り上げも2倍以上になっています。</p> <p>○学習を振り返る。</p> <p>C：これだけ手間をかけた大切なミニトマトだからこそ、高く売れるように厳しく選んで箱に入れているんだね。</p>	<p>◆農家が厳しく選果している理由を考え、表現している。 (思・判・表／発言・ノート)</p>

7. 備考

ミニトマトの選果という体験的な活動を行うことで、どの家庭の子どもも共通の知識をもって思考させることができた。単元の前半で実際に農家の仕事を見学し、農事ごよみに表してみたり、工夫についてまとめたりしたことで、子どもたちはミニトマトが手間をかけて大切に育てられてきたことを学んだ。それだけに、本時で出荷できないミニトマトがたくさんあることを知ると、「どうしてそこまで厳しいのか」と問いをもち、真剣に考えていた。この1時間で、大切に育てたミニトマトだからこそ、高く売れるようにあえて見た目までこだわって厳しく選んでいることに気づくことができた。